

☆2019年度スピーチコンテスト4年生スタッフ9名と出場者2名の率直な感想

1. 総監督

英語英文学科4年 窪内 大輔

2. 総監督

英語英文学科4年 小林 真理

3. 総監督

英語英文学科4年 服部 航士

英語英文学科 4年

窪内 大輔

小林 真理

服部 航士

和泉 裕紀

細根 ひらり

宮本 晏奈

杉山 優希

ランバート・ジュリア 芽衣

中俣 翔太

樋口 星奈

松尾 充朗

スピーチコンテストはぼくの大学生活の青春でした。1年生の時からスタッフとして4年間携わってきましたスピーチコンテスト。なかなか学部内で先輩や後輩と交流をもつことは難しいですが、スピコンを通じて仲を深めることができました。また、同級生とも毎年のスピコンで男女の垣根を越えて楽しく運営することができたと思っています。スピーチコンテストは英文科で唯一先輩後輩と仲良くなれる、そういう場だと思っています。少しでも興味を持つてある人、持つた人はぜひスピーカーやスタッフとして参加して欲しいです。学生生活の一生の思い出になるはずです！

今回のスピーチコンテストは思い出深いものとなりました。1年生のときにスピーカーとして参加してから4年間この行事に関わってきましたが、今回総監督という役職を務めることができたのも、ずっと一緒にいた友達やゼミの先輩、そして協力してくれる素晴らしい後輩がいたからだと思います。スピーチコンテストは文化祭のような雰囲気を味わえるとともに先輩や後輩、そしてなにより同期との仲を深めるとても良い機会です。この機会を通してできたときは不安も多かったですですが、先輩方の力を借りて、無事に発表を終えることができ、四年次に総監督を務めた際には、その経験を活かして、どの役職の後輩も不安にならないように、たくさんコミュニケーションをとりました。1～4年生になるにつれて、スピコンは、自分も含めて、多くの成長を遂げることができる舞台だと感じました。スピーカーやスタッフだけでなく、お世話になった先生方、聴衆の皆さんにも感謝です！

それぞれが役職をこなしながら、一緒にご飯を食べて過ごしたりハーサルの時間はかけがえのない思い出です。もちろん、今年も細々とした仕事やハブニングもありましたが、何より関わった学生達がスピコンを楽しむことができて本当に良かったです。

4. 司会担当

英語英文学科4年 和泉 裕紀

みなさん、ほんとうにありがとうございました！
本番は緊張のせいで5分喋ったくらいにしか覚えていないものの、ひじょうに大きな達成感がまだあります。陳腐な表現ですが準備期間が例年通り最高でした。繰り返しになりますが、コンテストに関わった皆様に感謝です！

5. 司会担当

英語英文学科4年 細根 ひらり

初めてのスピコンスタッフは一言で「青春」でした！小心者にとって、司会として表舞台に立つ緊張は尋常じゃなく、直前まで死ぬ程ビビったこと以外は、みんなとわちゃわちゃして、仕事して、最高に充実！やり遂げて大満足！とっても貴重な経験でした。

6. 会計担当

英語英文学科4年 宮本 晏奈

今回のスピーチコンテストもとても楽しかったです。私は4年間スタッフとして携わってきましたが、毎年違う感動があつて、いつもこの時期が一番楽しかったです。スピコンは私にとって大学生活の大きな思い出のひとつです。

7. 会計担当

英語英文学科4年 杉山 優希

スピコン期間中は毎日が楽しく充実しており、4年間を通して青春そのものでした。そしてスピーカーとスタッフが一丸となつて成功させようという想いが溢れる行事。スピーチはどれも心打たれるものばかりでした。

8. 出場者担当

英語英文学科4年 ランバート ジュリア 芽衣

心から参加して良かったと 思います。今回皆がしきりに「スピコンは青春」と言つていました。高校までは違い、自分から名乗りで必要があるからこそ大きな意味をもつし、必ず最高の思い出と仲間を作ることができます。

9. 審査員担当

英語英文学科4年 中俣 翔太

スピコンのスタッフをやらないか？と言われて断らなかつた1年生の自分を褒めてやりたいです。文化祭の準備期間のようになにかやりがいのあるスピコンというイベントはもちろん、スピコンで出会つた先輩や同期、後輩たちは大学で得た大きな財産です。スピコンのおかげで大学生活を充実したものになりました！

10. 3位入賞

英語英文学科4年 樋口 星奈

スピーチコンテストへの出場は今までで3回でしたが、毎回違う気持ちで臨んでいました。1回目の出場は出てみようという軽い気持ちで、2回目は優勝したいという強い気持ちで、そして3回目は自分が伝えたいことを伝えたいという気持ちでした。悔しい思いもたくさんしましたが、得るものが多くありました。私の大学生活1番の思い出です。

11. オーディアンス賞受賞

英語英文学科4年 松尾 充朗

4年次で初めて参加したスピーチコンテスト。最初はスピーチコンテスト担当の先生にしつこく勧められてのいやいやの参加だった。しかし、練習が始まって練習をしていくうちにいろいろなことに気が付かされた。その中でも一番再認識させられたのは、「人との関りの大切さだ。夜遅くまで一緒に練習に付き合つてくれた学友たち。自分のつたないスピーチに指導をしてくださった先生たち。こういった周りの人協力がなければ自分は何もできなかつただろう。いろいろなところで自分は助けてもらつていてたんだな、そう再認識させられたスピーチコンテストだった。